西島寮BCM（事業継続マネジメント）

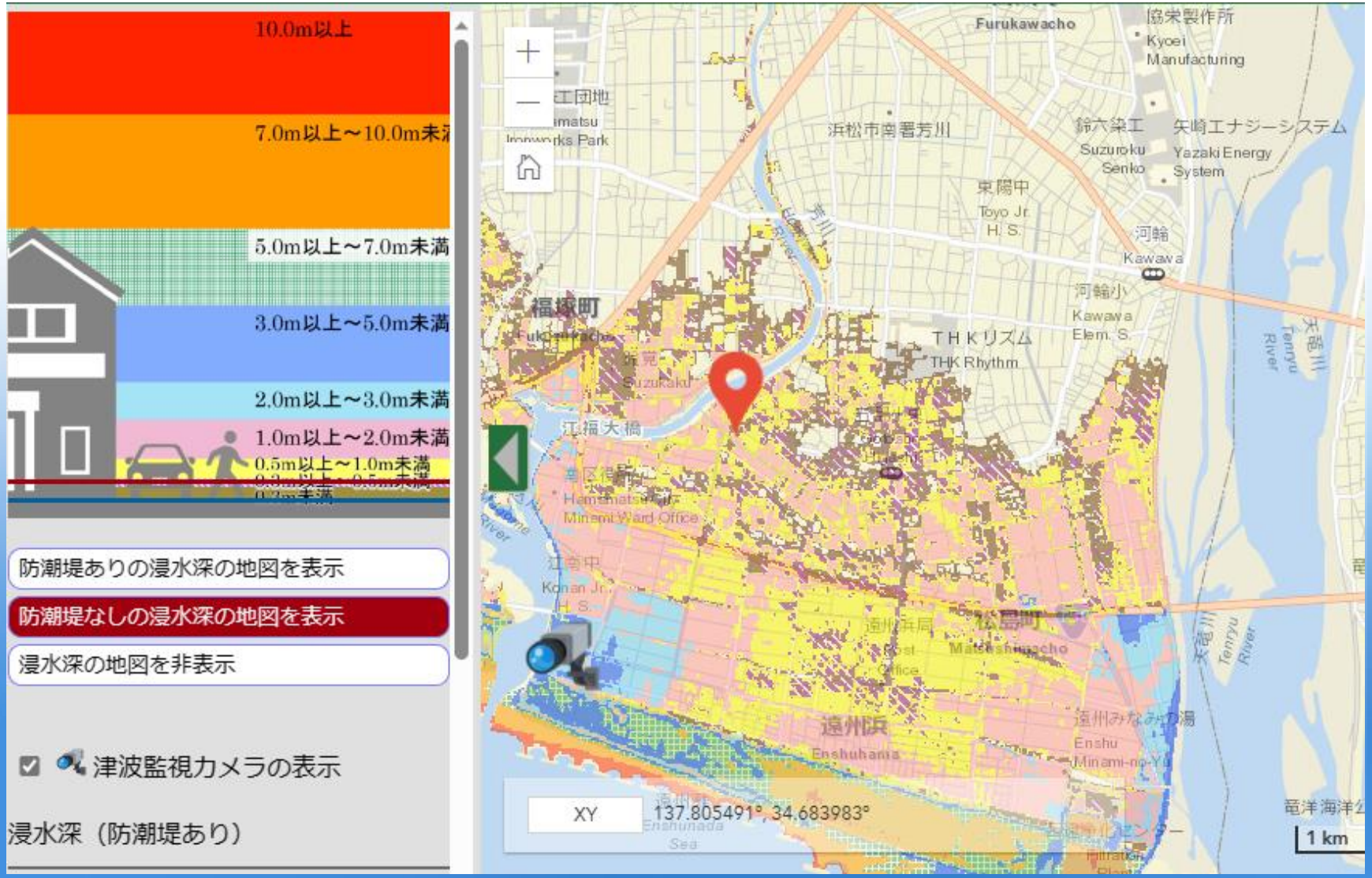
❖川と海に囲まれた施設が地域と共に生き抜くためには

社会福祉法人　慈恵会
特別養護老人ホーム西島寮

西島寮の立地条件

❖南側：海より直線で約2kmの距離
❖北側：真横に河川が流れている

施設周囲のハザードマップ（浜松市HPより）



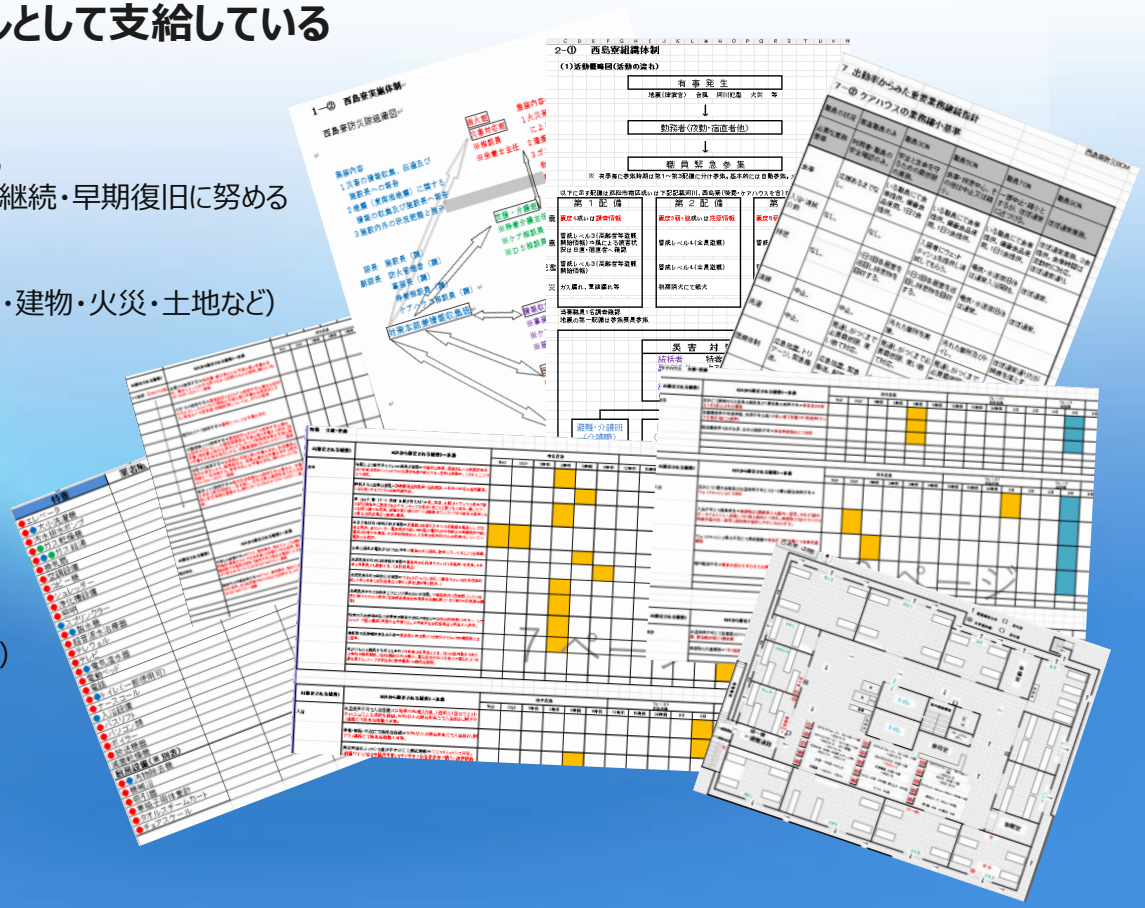
防潮堤ありのハザードマップ（浜松市HPより）

BCM（事業継続マネジメント）

❖令和元年より着手、法人理念・経営方針・行動基準に基づいて
西島寮BCM（事業継続マネジメント）を策定する

BCM計画だけにはとどまらず、導入・運用・改善まで考慮したマネジメントとする
マニュアルは全職員へBCMファイルとして支給している

①西島寮ＢＣＭ　基本方針
　ご利用者・ご家族及びご来寮者・職員の安全を守る
　ご利用者・ご家族及びご来寮者・職員のために事業継続・早期復旧に努める
　社会的責任、地域貢献を果たす
②西島寮実施体制・組織体制・行動の基準
③被害想定（水道・ガス・電気・通信関係・食料・下水・建物・火災・土地など）
④ボトルネック抽出（妨げになる要素）
⑤事業継続のための
　1.タイムライン
　2.行動・検討
　3.出勤率毎の業務スケジュール
⑥災害キット及び復旧・再調達予測
⑦時間ごとに行動指示書
⑧代替え拠点の確保
⑨緊急連絡リスト
⑩対策本部　被災時指示書（各種班ごと・時系列ごと）
　災害対応班
　避難・介護班
　医療班
　非常食班



全体研修・訓練を実施（年2回以上）

❖災害時の被害想定を設定して、時系列ごとの行動や日中・夜間帯の限られた職員数での行動などを机上にてグループワークで実施する。職員間で出し合った意見をもとに、ＢＣＭ会議にて常にマニュアルを更新し、全体訓練を実施している。また、担架や消火器具、発電機などの効果的な使い方など、いざという時にどの職員でも、使いこなすことができるように研修や訓練を実施している。

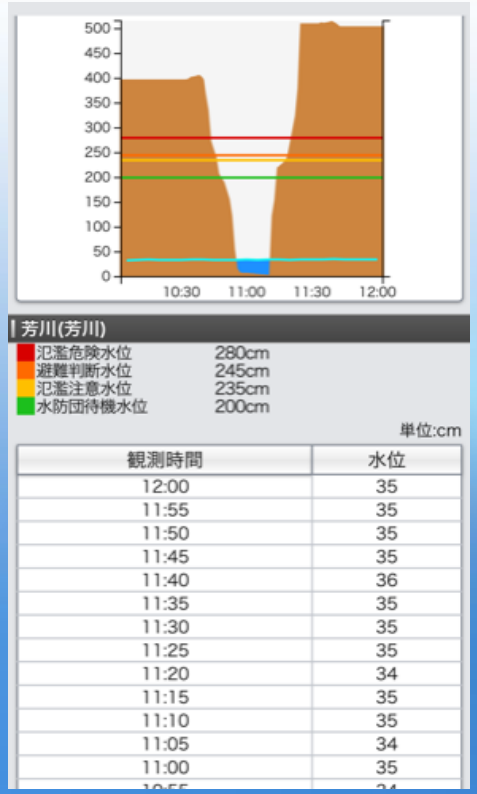
地域と共に防災活動を実施

❖西島町防災協定
❖津波避難タワーとして役割を果たすべく、地域の方と防災訓練を実施
❖地域の防災訓練へ職員も参加して意見交換や避難先としての住民への周知を実施
❖要支援者の受け入れ協定
（自治会や民生委員を通して、避難者の要支援を求める地域住民のリスト化）
❖締結のための話し合い（自治防災会議に参加）
❖施設屋上の防災備蓄倉庫は地域住民の非常食・飲料水も確保

河川氾濫　静岡県土木総合防災情報サイポスレーダー等

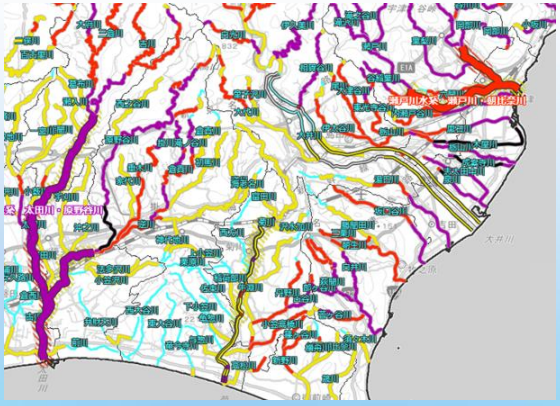
❖様々な情報コンテンツを利用して、早めの防災対策・避難対策を講じることが重要です

河川の水位状況やこの先の雨雲レーダーや降雨量の予測などタイムリーな情報が入手できます

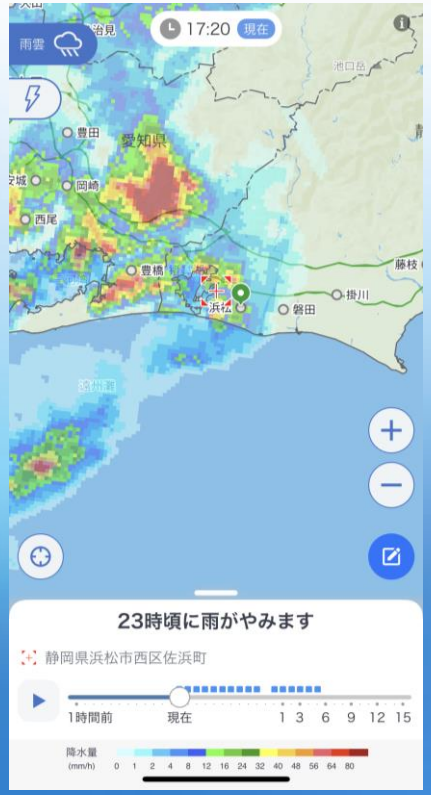


観測時間	水位
12:00	35
11:55	35
11:50	35
11:45	35
11:40	36
11:35	35
11:30	35
11:25	35
11:20	34
11:15	35
11:10	35
11:05	34
11:00	35

静岡県土木総合防災情報
サイポスレーダー



国土交通省　気象庁
洪水キキクル



雨雲レーダー

ご清聴ありがとうございました！

社会福祉法人　慈恵会

特別養護老人ホーム西島寮